

わくわく山のあそび場～笑顔いっぱいあいの杜体験事業

実施主体 名称：特定非営利活動法人 あいの杜 あいの杜保育園

住所：瀬戸内市牛窓町鹿忍4455-1

事業実施場所 あいの杜保育園わくわく山 西脇海岸ベースビーチ

～事業を始めるにあたって～

当園は平成28年ごろより、園に隣接する山を開拓し、子ども達が主体的に遊べる「わくわく山」を造った。豊かな自然の中で子ども達が群れ、関わりながら遊びを自由に展開していただいと考え取り組んでいる。園児のみならず、地域の子育て家族なども多く来園しているが、もっと、自然遊びの大切さ、面白さを伝えていき、子育て世代のみでなく、高齢者の方など幅広く集えるわくわく山を展開していきたい。

2年前より「といと号」と名付けた車に、遊びのキットを乗せて、市内の色々な所へ遊びを届ける独自の事業も行っている。また、瀬戸内市の「こどもひろば推進事業」とも協働し、外遊びや、人との関わり合いながら子育てができる地域づくりを行う。

～事業実施内容～

体験型交流等事業

<第1回>

- ①事業名 わくわく山で遊ぼう！しぜんあそびの巻
- ②参加人数 祖父母世代3名、親子30組（保護者33名、子ども45名）
その他参加者（瀬戸内市企画振興課、子ども政策課、あいの杜）
- ③日時 令和2年10月17日（土）
- ④場所 あいの杜保育園わくわく山 他
- ⑤内容 講師：地域の方、市社会福祉協議会 他
内容：木工、製作、ブラインド体験、プレーカー



⑥活動の成果等

当日は雨天のため、室内での活動となり、コロナ感染予防に細心の注意をはらい行った。参加者も約束など守りながらも子どもたちは自分のやってみよう！と思う場所を選択したり、人が多いと感じたら自主的に別の所へ移動するなど工夫しながら遊んでいた。集中して取り組んだり、周りの友達と声を掛け合ったりしていた。保護者も子どもの思いに耳を傾けたり、保護者同士の交流も見られた。特に木工遊びでは親子で一つの物を作り上げることができ、真剣に作る姿や笑

顔が見られた。どの場面においても地域の方が子どもの力を信じて見守ったり、できた時には認めてくれたりする中で子どもたちも保護者もゆったりとした環境の中で遊び、触れ合うことができていた。若い保護者の方と地域の方との関わりが自然に生まれていた。

<第2回>

- ①事業名 海辺で遊ぼう！うみべあそびの巻
- ②参加人数 祖父母世代12名、親子28組（保護者31名、子ども61名）
その他参加者（瀬戸内市子ども政策課、あいあいの杜）
- ③日時 令和2年11月14日（土）
- ④場所 西脇海岸ベースビーチ周辺
- ⑤内容 講師：地域の方 他
内容：砂浜遊び、サンドアート、凧作り



⑥活動の成果等

牛窓の自然と言えば山だけでなく海もあると考え、西脇海岸と、ベースビーチさんに事業の内容を理解していただき協力してもらうことになった。場所の提供、テントなども借りることができ活動の幅が広がることになった。また、砂場での遊びと、広い場所、空が高い等の良いところを活かし「凧作り」の案を出してくれた地域の方の特技を活かし取り入れた。凧揚げは、当日でないと風向きなど判断できず心配していたが、当日は、天気にも恵まれスタッフ・地域の方との連携で大盛況となった。凧揚げの経験のない保護者には、地域の方やスタッフが協力して手伝いながらつくりあげることができた。青空高く上がる凧に歓喜の声が響き渡った。砂浜では、当日はたくさんの方が来られ、潮の香り、海の色や波の音、風の気持ち良さ、砂の感触など五感を存分にはたらかせながら遊んだ。また、子どもも大人も一緒にアイデアを出し合いながら、砂のアートや、海辺に落ちている流木や貝がら、海藻などを使って立体的なアートも出来、参加者全員が満足した時間を過ごすことができた。それを見守る地域の方々、スタッフも地域にたくさんのお親子が集い楽しんでいる姿に感動しこの事業の素晴らしさを感じ次への意欲に繋がっていった。

<第3回>

- ①事業名 わくわく山であそぼう！むかしあそびの巻
- ②参加人数 祖父母世代13名、親子26組（保護者22名、子ども41名）
その他参加者（瀬戸内市子ども政策課、あいあいの杜）
- ③日時 令和2年12月19日（土）
- ④場所 あいあい保育園 わくわく山
- ⑤内容 講師：地域の方 他

内容：竹馬、けん玉、こま、火起こし体験、山遊び、ブラインドツアー



⑥活動の成果等

急に冷え込んできて、当日も寒くなると予想し、暖をとるために焚火を地域の方が朝から準備した。また、新型コロナウイルス感染症が広まっているので、スタッフとともに連携を取りながら予防策を行った。今回で、3回目の開催となるが、3回とも参加して下さった方が多く、保護者の方も竹馬・こま等が懐かしく必死になって子どもの時を思い出したかのように挑戦する姿が見られた。火起こし体験では、地域の方が手作りの火起こし道具を持参して下さり、大盛況となり、煙が出はじめたら、みんなで拍手喝采となった。3回目ともなると地域の方やスタッフとも顔見知りになり自由に質問したり教えてもらうよう依頼したり交流できるようになったと感じた。また、遊びへの集中力や持続力なども変化してきていると感じている。親子とも自然とのかかわりの中で心も体も伸び伸びと過ごせたのではないかと考える。

<第4回>

- ①事業名 わくわく山の遊びがみんなのところに行くよ！一緒に遊ぼう！
- ②参加人数 15名
- ③日時 令和3年1月21日（日）
- ④場所 瀬戸内市立牛窓町鹿忍分館
- ⑤内容 講師：スタッフ 他
内容：「といとい号」（玩具を遠いところまで運んでいく車の意味）で地域の人に
あいあいの杜から遊べる、作れる、楽しめる、あいあいの杜のわくわく山を
知ってもらうために出かけていく。



⑥活動の成果等

今回はコロナ禍の中でもあるため、地域の方々に見ていただくことにした。実際に触れてもらった。子どもたちに興味深い遊びの工夫がされている。木工遊びまで積んであるのがとてもいい。家庭ではなかなか経験できないから喜んで遊べると思う。ただそれを使って遊ぶだけでなく工夫したり試してみたりできる素材が多いと感じる。また、木の角などの補強をするか、丸み

を帯びさせるなどの工夫もすると良い。絵本なども置いておくと、外で読むのもいいのではない
か？など多くの意見やアドバイスを頂くことができた。

地域ぐるみ会議の開催

会議名 みんなで考えよう！地域の世代間交流について

<第1回>

- ①参加人数 9人
参加者：鹿忍地区役員、瀬戸内市役所企画振興課
あいあいの杜
- ②日時 令和2年8月27日（木）
- ③場所 あいあい保育園 子育て支援センター
- ④内容 鹿忍の地区役員さんとの懇談会
- ⑤活動の成果等



鹿忍地区の「遊ぶ環境（場所）がない」「共働きの家庭が多い」「自然を活かした場所が欲しい」
など活発な意見が飛び交った。あいあいの杜のわくわく山にたくさんの人が集い楽しめるための
内容や方法など様々な意見をもらうことができ、地域の方々との交流の良いきっかけとなった。

会議名 地域のみんで考えよう！わくわく山の自然遊び

<第2回>

- ①参加人数 15人
参加者：地域の方、あいあいの杜等
- ②日時 令和2年10月17日（土）
- ③場所 あいあいの杜 子育て支援センター
- ④内容 第1回目の体験型交流を終えての振り返り
- ⑤活動の成果等



当日は雨天ということもありまた、コロナウイルス感染症の観点から予防配慮し、室内の使用
のため人数の工夫も行った。そして、外で行う予定の物をすべての中で行えるように準備した。
雨天でもみんなのアイデアが集結するとこんなにもいい雰囲気で行うことができると思った。
こちらも一生懸命だと参加して下さる方も、一緒に考えたり自主的に気をつけようとしてくだ
さる姿勢がありがたかったとの声が聞かれた。また、木工では子どもも保護者も一生懸命で、で
きないところを丁寧に教えてくださる地域の方がいてくださるからみんな安心してできたとの
声が多く、そして、作った物が宝物であるとも言っていた。そのような言葉がとても嬉しかった
ようだ。地域の方はお母さんやお父さんたちと色々な話ができただことはよかった。また、スタッ
フのチームワークも良かった。

会議名 地域のみんで考えよう！海辺の自然遊び

<第3回>

- ①参加人数 16人
参加者：地域の方、あいあいの杜等
- ②日時 令和2年11月14日（土）



- ③場 所 西脇海岸、ベースビーチ周辺
- ④内 容 第2回目の体験型交流を終えての振り返り
- ⑤活動の成果等

今回は海辺ということで、各家庭からもイメージを持って道具なども持ってこられていたことと、海辺にある流木や、海藻、貝殻なども使って子どもたちが主体的に遊びを広げることができていた親子で作る鬼。子どもたちの意見をととても大切にしながら、遊びが作られていた。1回目の参加者も多く、スタッフや地域の人たちとも会話をしながらそれぞれの家族が繋がりがあっていたことも印象的だった。また、凧作りは何日も前から地域の方が考えて、一番上がるだろうと思う凧の作り方を考案。準備も地域の方が協力してくださり当日もチームワークの良さで、お母さんと子どもたちが一生懸命取り組む姿が見られ、出来上がってあげた時の歓声が西脇海岸に響き渡った。たくさんの方がこの場を介して繋がりがあいな笑顔が広がったと地域の人、スタッフは達成感を感じることができ絆も深まっていったと感じる。

会議名 地域みんなで考えよう！わくわく山の自然遊び

<第4回>

- ①参加人数 17人
参加者：地域の方、あいあいの杜等
- ②日 時 令和2年12月19日（土）
- ③場 所 あいあいの杜 わくわく広場
- ④内 容 第3回目の体験型交流を終えての振り返り
- ⑤活動の成果等



今回は2回の会を終え、地域の方が主体的に行う内容を提案してくれた。例えば、「コマをずっとしているのでコマを回すところを見せたいから、オープニングでは？」「竹馬なら、作ることができる」「火起こしの仕方を調べてくるし、見本を作ってくる」「準備のできる場所はしますよ」など声を出してくれたことは大きな成果と言える。そして、やってみよう！できないけど挑戦したいと思える気持ちにしてくれる言葉がけが多く聞かれた。また、手を取り繰り返し挑戦してみたりと、様々なコーナーで見られた。これらのことを振り返りの会では多く聞かれた。参加者はもちろんだが、地域の方、スタッフ一同が、次に繋がるようにそれぞれが考え、共に進めていけるようにしたい。沢山の保護者、子どもたちがもっと遊びたい！そんな声をたくさん聞くことができたことはやってよかったという意見が多かった。

会議名 みんなで考えよう！地域の世代間交流について

<第5回>

- ①参加人数 11人
参加者：鹿忍地区役員、あいあいの杜スタッフ
- ②日 時 令和3年1月18日（月）
- ③場 所 あいあい保育園 ゆめクラブ（もり組）
- ④内 容 体験型交流事業を終えて今後の取組みについて
これからの鹿忍地区と繋がりが、あいあい保育園の役割について



⑤活動の成果等

鹿忍地区も少子化が進み、また、利便性の良いところに住むなど人口も減少傾向である。そのためにも地域の自然環境を活かし出来ることを考えていきたい。今回の事業を通して、子どもたちの喜ぶ様子に意欲をもらい、また、その子どもたちがこの環境の中で心も体もたくましく成長してもらえるお手伝いできたことはうれしい。自分たちにできることはしたいと次につながる意見が多く聞かれた。世代間交流の必要性和大切さを感じた。

～事業を終えて～

○事業実施による効果

あいあい保育園のわくわく山と地域の自然（海）を活かして行うことで地域の子育て世代の方々も自然遊びにも興味を持てたのではないかなと感じた。地域の方の経験を活かしながら関わって下さったことに感謝したい。今後、あいあい保育園と地域の方が連携して活動を実施することで、若い保護者の子育て支援となるだけでなく、地域の方も子どもとふれあうことで癒やされたり、自分の特技を活かすことができる喜びを感じることができたりしている。あいあいの杜としても、人の役に立つ・地域の役に立つことができたことは大変うれしく自分たちの勉強にもなった。これで終わりではなく、より一層色々な方たちとの交流を深めながら、笑顔で子育てできる支えあいネットワークがたくさんの方々へ広がっていくことを期待しながら、また、この事業をさせていただいたことに感謝したい。

○今後の課題・展開

- ・地域の人との関係も日々連携が深まり意見交換もできるようになってきた。そして地域の人達の特性を活かすことができ、また、その人の意欲と喜びとなったと感じる。
- ・地域の方が「今後も目に見える形で、協力していきましょう。」との意見をいただき、共に地域のため、子育て親子のみならず、今回協力を頂いた高齢者の方々が集える居場所になれると良いと考える。そして、定期的に地域の力をサポートしていただけるような形になればと感じている。みんなが主体的に活動できるような自然環境を工夫したり、多くの方々の意見をもとにこの活動が展開出来るように地域の方と、手を取り合って歩んでいきたい。多くの参加者から、「今度はいつやるの?」「またしてほしい!」などの言葉を頂き、今後の事業への参加者の期待を感じることができた。参加者の感想や要望を聞きながら、あいあいの杜が地域の拠点として、みんなが集える場・心地よい居場所づくりとなるように努力したい。
- ・この事業で地域の方々にお力添えを頂いた。その地域の方々との関係を大切にしながら、今後もわくわく山やといとい号で市内を回り遊び場づくり、居場所づくりを展開していきたい。

○まとめ

- ・今回の事業を重ねるごとに地域のみなさんが集うだけで楽しい場所になっていったと感じた。
- ・子どもから大人まで生き生きとした表情で参加していて、皆さんから「次もまた来たい」「まだ遊びたかったと、帰りの車でずっと泣いていました。」「自然の中で子どもたちの成長を見ていくことは、素晴らしいことだと改めて実感した。」「コロナ禍で、行く場所、遊ぶ場所に困る中、コロナの感染防止対策として、衛生面、安全面に配慮した事業をして頂き、感謝しています」など、多くの参加者から嬉しい感想が届いた。

- ・地域の方から「これからも協力しますので、続けましょう」と力強いお言葉をいただき、より一層、地域の方のありがたさを感じた。人と人との繋がり、地域の方々と共に作りあげていく事業は、地域の活性化にもつながっていくと感じた。
- ・今回、「笑顔で子育てできる支えあいネットワークづくり事業」では、地域の方と新たなふれあいの機会を持つことが出来たり、地域の方の力や魅力を知ることができたことは大きな成果であり、あいあいの杜にとっても有意義なことだと思う。これからもあいあいの杜の子ども達にも目を向けていただき、協力を頂けるよう地域の方との縁を今後も引き続き深めると共に地域の世代間交流の拠点となれるよう努力していきたい。